

# 安齋先生の技術通信

2008年  
11月号



技術顧問・理事  
安齋 正弘 先生

経済問題には全くうとい小生ですが、それでも今回のアメリカ発世界規模の深刻な状態にはいささかゲンナリしている。マスコミは一般投資家の不安心理を煽ったりしてはいないの？世界を動かす投資家集団には倫理感やバランス感覚などないのだろうか？経済って「成長ありき」なの？現状維持ではダメ？

さて今月も引き続き【はり等の横架材】で、梁のスパンとそのサイズ選定の関係です。

## 【スパン表による選定】

### (2) 床の小ばり 無等級材

〔設計条件〕 たわみ制限: 固定+積載荷重 ( $600\text{N}/\text{m}^2$ ) に対してスパン1/250以下  
たわみ制限による方が大きいため、強度による場合を省略しています。

床の小ばり 間隔 (m)	床の小ばり スパン (m)	床の小ばり断面 $b \times h$ (mm)	(参考値)
		無等級材 針葉樹 (べいまつ) たわみ制限による断面	長期反力R ※2 (N)
1.82	2.73	105×180 / 120×180 ※1	3,236

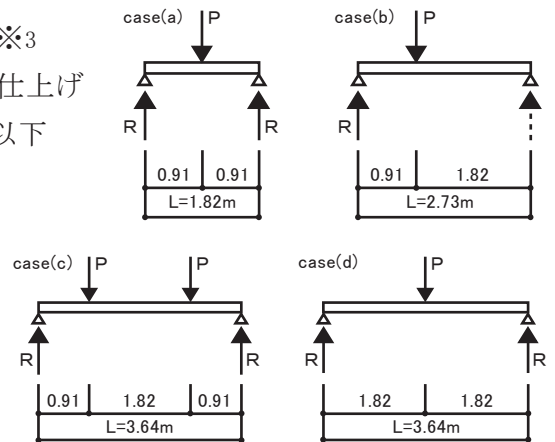
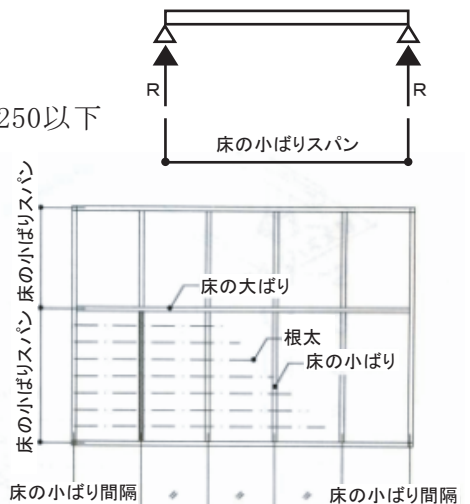
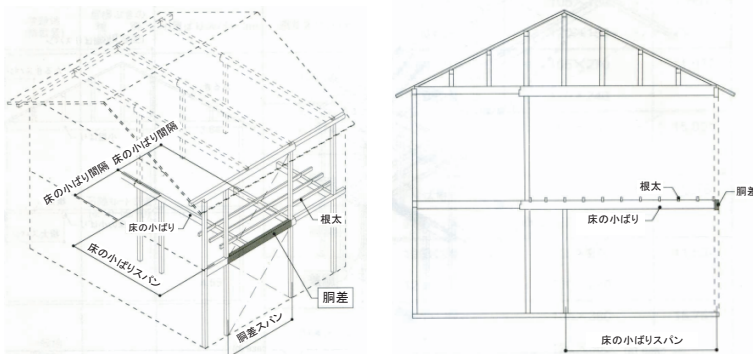
※1 梁幅が105と120とは柱寸法に合わせてどちらでも大丈夫です。

ただ稀に梁成が異なる場合がありますので、ご注意ください。

※2 固定+積載荷重 ( $1800\text{N}/\text{m}^2$ ) に対する反力を示す。梁を添える際など仕口のビス本数等の参考になるかと思えます。

### (3) 床の小ばりが胴差に直行する場合 (1・2階開口部位置一致) ※3

〔設計条件〕 適用範囲: 床の小ばり間隔1.82m、外壁モルタル仕上げ  
たわみ制限: 固定+積載荷重 ( $600\text{N}/\text{m}^2$ ) に対してスパン1/250以下



P: 床の小ばり反力  
L: 胴差スパン

床の小ばり スパン (m)	胴差スパン (m) ( ) 内はcase	胴差断面 $b \times h$ (mm)	(参考値)
		無等級材 針葉樹 (べいまつ) たわみ制限による断面	長期反力R ※4 (N)
2.73	1.82 (a)	105×150 / 120×135	5,260
	2.73 (b)	105×210 / 120×210	7,393
	3.64 (c)(d)	105×300 / 120×270	10,520

※3 胴差の選定については、小ばりが平行する場合と直行する場合と1・2階開口部位置一致、不一致の4パターンがありますのでご注意ください。

※4 固定+積載荷重 ( $1300\text{N}/\text{m}^2$ ) に対する反力を示す。

スパン表は、記載された条件 (樹種及び等級、部位の種類、荷重の組合せ、荷重のかかり方等) から外れた場合には、原則として適用できません。ただし、スパン表より安全側であることが確認できる場合には、適用可能ですので是非活用して見て下さい。

～次号はスキップフロアーについて～

技術的なご質問・ご相談などは・・・

TEL : 048-224-8316 (川口事務局)

メール : question@mokutaikyo.com

FAX : 048-224-8315

まで、お気軽にどうぞ！！